

# 行政評価シート

事務事業名	市民との協働による自治推進事業		事業開始年度		
担当部	市民部	担当課	生活環境課	担当係	生活防災係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(4) 特性を活かした地域づくりを進めます
施策 (手法)	②地域自治活動の推進
取組事項	I. 自治活動の支援

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	行政区の自主的な公共活動を支援することで、行政区が目指す住みよい地域づくりを推進する。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	行政区ごとに1世帯当たり800円を補助。H30年度実績額は15,470千円、R1年度実績額は15,545千円。
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	実績値			指標の単位	円
指標の説明	指標設定が馴染まないため実績値を計上する。				
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値	—	—	—	—	—
実績(見込)値	15,378千円	15,442千円	15,470千円	15,545千円	15,649千円
達成度(%)	—	—	—	—	—
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	当補助金は、各行政区会計の収入における主となる財源であり、行政区運営に必要な不可欠なものとして活用されているため。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	市の財政事情もあることから当面現状のまま継続とする。

# 行政評価シート

事務事業名	地域集会施設大規模改修事業		事業開始年度	
担当部	市民部	担当課	生活環境課	担当係
				生活防災係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(4)特性を活かした地域づくりを進めます
施策 (手法)	②地域自治活動の推進
取組事項	Ⅱ. 自治基盤の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	地域住民の活動拠点である老朽化した集会施設を改修することにより、地域コミュニティ活動の活性化を図るとともに、地域を支える自治会活動の推進をめざす。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	H30年度 1件 成田会館 屋根・トイレ等修繕 7,344千円 R1年度 3件 高越会館・永田中央会館 トイレ洋式化修繕 875千円 初森老人憩いの家 井戸さく井修繕 2,310千円
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	集会施設の大規模修繕計画戸数			指標の単位	戸
指標の説明	計画通りに大規模修繕が実施されたかどうかにより達成度を判断する。				
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値	—	—	1	3	—
実績値	—	—	1	3	—
達成度(%)	—	—	100	100	—
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	地域集会施設について、経年劣化による屋根修繕やトイレ洋式化修繕、井戸のさく井修繕を行うことにより、施設利用者である市民の安心・安全や利便性の向上を図ることができた。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
【説明】	各地域における集会施設の位置づけを再考しつつ、住民のニーズや市の財政状況なども考慮しながら事業実施を判断していく。

# 行政評価シート

事務事業名	洋式トイレの温水洗浄便座化		事業開始年度	H28	
担当部	市民部	担当課	生活環境課	担当係	生活防災係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(4)特性を活かした地域づくりを進めます
施策 (手法)	②地域自治活動の推進
取組事項	Ⅱ. 自治基盤の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	地域住民の活動拠点となる住民センターの環境を整備することにより、地域活動の利便性の向上並びに自主的活動の更なる活性化を図る。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	H30年度 岳下住セ 2基、新殿住セ 3基、戸沢住セ 2基 800千円 R1年度 杉田住セ 2基、下川崎住セ 3基、木幡住セ 1基 471千円 R2年度 大平住セ 2基、旭住セ3基 (予定)
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	洋式トイレの温水洗浄便座化			指標の単位	基
指標の説明	年次計画に対しどの程度更新できたかにより評価する。				
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値	—	7	7	6	5
実績値	—	7	7	6	
達成度(%)	—	100	100	100	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	トイレは公衆衛生に関わるものであり、排泄は人間の生理現象であることから、清潔で快適なものである必要がある。住民の活動拠点である住民センターのトイレの改修は、多くの住民から望まれているものであり、その費用対効果は高い。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	完了
【説明】	当事業は地域活動の活性化や公衆衛生に係る地域住民にとって重要な位置づけのものであり、令和2年度までに必要な箇所の取組については完了した。